学校だより
練馬区立小中一貫教育校
大泉桜学園
第137号
令和5年6月6日
発行者　池田 和彦
http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

# 運動会を終えて

校　長　池　田　和　彦

先日の運動会におきましては、たくさんの保護者、地域の方々に、元気で、規律ある子供たちの姿をご観覧いただきました。また、運営におきまして、桜連絡会の皆様をはじめ、多くの保護者の方にご協力をいただき、学校として本当にありがたく、感謝申し上げます。

日本の運動会は、1874年（明治18年）東京築地にあった海軍兵学校の寮で開催された「競闘遊戯会」が始まりと言われています。当時の日本にはスポーツという概念がほとんどなく、体育の授業は馬術や武道だけで、身体の鍛錬、身軽な身のこなし等を向上させることが目的だったそうです。その状況を見たイギリス海軍の団長が、学生たちのストレスを発散させるために運動することを推奨し、競闘遊戯会を開催したそうです。そして、この競闘遊戯会に強く共感した初代文部大臣の森有礼が、全国の学校に運動会の実施を義務付けたとされています。

そして今、運動会とは、保護者にとって、子供が全力を尽くして活躍する姿を目の当たりにし、成長の喜びを実感できる行事であり、教師にとっては、練習にとりかかった日から、子供と真剣に向き合い、一体となって一つの演技を創り上げ、達成感を共有できる感動的で格別な行事です。その運動会を「価値ある教育活動」にしていくためには、1年生から9年生が運動会の練習を重ねるにつれて運動会への「想い」を高めつつ、大泉桜学園全員で運動会を創り上げていくという「空気感」が必要となります。それは、教師からの教えによるものではなく、子供たちの中に自然に湧き上がるものです。

低学年の子供たちが、下校時桜ロードから中学部の表現演技の練習に真剣なまなざしで見入り、先輩へのあこがれと尊敬の気持ちをもって佇んでいました。そして、旗を振る動作の真似をしながら帰っていく姿は、本校ならではの光景でした。西校舎の子供たちは、実行委員会や係の活動を通して、自分たちで創り上げる運動会を実感しました。トイレに行きたい小さい子供の手を引いて誘導している児童生徒係、転んで泣いている1年生を慰めながら救護場所まで連れていく救護係、並ぶことができずに迷っている子供の肩に手をおいて列に導いている誘導係、進行を妨げないように汗だくになって大急ぎで用具を整える用具係、何回も原稿を読み返して本番に臨んだ放送係など、このような一人一人の具体的な物語が子供たちの自己有用感を高め、人と人とのかかわりの大切さを経験することができました。

約3週間の運動会練習の中で、子供たちに経験を通して学んでほしかったことは「一生懸命にやりきること」そして「心を揃えること」でした。練習の中から、少しずつ上達し、仲間と力を合わせることの楽しさ、喜び、一人ではできないことでも友達と一緒だからできる達成感を得たと思います。競技一つ一つに力を尽くし、よく頑張り、本当に嬉しそうに参加している姿は、今が一番楽しく、仲間と共に過ごしている豊かな時間であると感じました。

本校では、学校全体のいたるところで上下級生が、ごく自然なふれあいの中で、たくさんのことを経験し、多くのことを学んでいます。そうしたことは、当たり前の行為としてごく自然になされ、上級生の行動を下級生が見習う、上級生は下級生に目を配り、面倒をみるという「校風」が子供たちのなかに浸透していると改めて実感しました。今後とも、本校の教育理念のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 低学年表現『令和のヒーロー～ゴールテープをいつか切るために～』

第２学年担任　北條　静香

今年度は、ゆずの「タッタ」という曲で踊りました。「たった一度きりの人生、くじけてしまうことがあっても、何事にも諦めずに仲間と共に頑張ろう」、「全員がだれかを助けるヒーローになれる」というメッセージ性の高い歌詞と、口ずさみたくなってしまうリズムの良さから、この曲を選びました。

１年生は、初めての運動会ということもあり、元気いっぱい張り切って練習に取り組んでいました。２年生は、お兄さんお姉さんとして、１年生のお手本となれるよう、時間を意識したり、素早く整列、行動したりする姿が見られました。並び方や退場のダンスを考え、たてわり班ごとに１年生に教えるということにも挑戦しました。

練習で一番苦戦したのは、波のところです。波のスタートのタイミングや波が大きく見える体の動かし方、波がスムーズに流れていくことなど、何度も何度も練習を重ねました。本番は、クラスごとにそろえた４色のバンダナと花の腕飾りを身に付けて演技に臨みました。「見ている人が笑顔になるように、笑顔で大きく踊る」ことを意識して、一人一人が一生懸命踊ることができました。演技が終わった後の子供たちは、達成感に満ち溢れた表情でした。

運動会までの１カ月間、保護者の方には様々な面でご支援とご協力をしていただき、誠にありがとうございました。運動会を通して学んだことを今後の学校生活に生かしていけるよう、引き続き指導してまいります。

## 中学年表現『楽しい冒険に出かけよう　～RPG２０２３～』

第４学年担任　丸山　開史

ゴールデンウィーク明けの暖かい陽気の下、今年度の運動会の練習が始まりました。今年度は、様々な規制が緩和されたことで、子供たちはマスクを外し、集まることができました。そのため、子供たちの笑顔が直接見え、以前に比べて、とても明るい雰囲気で練習することができました。

今年度の３、４年生は、SEKAI　NO　OWARI の「RPG」という曲に合わせてダンスをしました。今回の表現運動は、サビにある「空は青く澄み渡り　海を目指して歩く」という歌詞から、「楽しい冒険に出かけよう」をテーマにして、笑顔で元気に踊りました。子供たちは、目線や手の動き、移動の仕方など、細かいところまであっという間に覚えて、一生懸命に練習に取り組みました。また、運動会当日は、「より楽しい気持ちで冒険したい。」ということで、子供たちのお気に入りの Ｔシャツを着て演技しました。繰り返し行った練習の成果を存分に発揮することができ、演技後は、達成感に満ち溢れた表情を浮かべていました。

子供たちは、この１ヶ月を通して、全員で心を一つにすることの重要さ、笑顔で楽しく表現することの大切さを学ぶことができました。今回の表現運動での学びを生かして、これからの学校生活を充実させられるよう支援していきます。運動会までの１カ月間、保護者の皆様には、様々な面でご支援とご協力をしていただき、誠にありがとうございました。

## 高学年表現『桜ソーラン２０２３～成長のしるし♡を刻もう～』

第５学年担任　荻島　明子

今年の５・６年生は『愛のしるし』と『南中ソーラン』の２曲を使って表現を行いました。

今回の高学年の表現テーマは、「成長のしるしを刻む」という言葉です。東校舎でたくさんの人に支えられ、愛され、鍛えられた子供たちが西校舎でさらなるステップへと羽ばたく姿を表現しました。

前半の『愛のしるし』は、一曲の中に「ダンス」と「組体操一人技」を入れました。少し懐かしくもある軽快な音楽でしたが、笑顔で真剣に練習に取り組む姿を見て、子供たちの素直で前向きな姿勢を感じました。また、次の組体操では表情が一気に引き締まり、出来上がった技の姿勢のまま動きを止めることに挑戦しました。さらに、次の動きへの準備を素早く行う練習も行いました。

後半の『南中ソーラン』は、団結して踊ることを目標に掲げ、２枚の旗「一致団結」「燃」に思いを込めて表現しました。昨年度も踊ったことがある６年生が５年生にマンツーマンで教える練習を繰り返し行いました。振りの細かい動きや隊形の確認など６年生の動きを手本として、お互いのもっている力を更に高めることができました。今年は教えられる側だった５年生が、来年は教える側に立つことで大泉桜学園の伝統をつないでくれると期待しています。

当日は一人一人の“成長”をたくさんお見せすることができた運動会になりました。今後の学校生活でもこの成功を力に変えて、発揮していけるよう頑張っていきます。

## 中学部表現『SAKURA でカーニバル』

中学部保健体育科　梶原　綾

今年度の演技は中学生らしい格好良さを見せたいと考えロック調の楽曲を使用しました。昨年度から中学部では手旗を使った演技を行っています。今年度はさらに色も増え、たくさんの手旗は大泉桜学園の広い校庭を華々しく彩ることができたのではないでしょうか。手旗はタイミングが揃わなければ美しさが伝わりません。身体の向きかえのタイミングや腕の上げ方など、細かい部分にもこだわり練習を重ねてきました。

当日の中学部の順番がくるまでは緊張した様子で心配しましたが、曲が流れ演技がスタートすると中学部の生徒みんなが練習以上の動きで無事最後まで発表することができました。終わった直後

の表情は、みんな自分の演技をやり遂げ、達成感に満ちた様子でした。

## 前期児童生徒総会

児童生徒会担当　植松　寿行

5 月 25 日（木）の 5 時間目に前期児童生徒総会が開催されました。総会は、児童生徒会、5～9 年生の学級委員、専門委員会が作成した活動方針及び活動計画の承認を行う場になります。この総会を迎えるにあたって、児童生徒会役員、各委員長、質問者・提案者、議長団は、立ち回り確認や話す内容の暗記などの準備を進めてきました。当日、たくさんの児童生徒がいる中で、発表者の児童生徒たちは大きくて分かりやすい声で発表することができました。しっかりと練習の成果を発揮することができて良かったです。また、話を聞く側の生徒たちも、自分事として真剣な表情で聞いている姿を見ることができ、これからの大泉桜学園をより良くしてくれると感じました。総会での議論の結果、全ての内容が承認され、前期委員会活動が本格的に開始しました。各委員会で今回立てた目標の実現に向けて最後まで頑張ってほしいです。また、児童生徒の皆さんも、委員会活動に主体的に参加し、自治活動を盛り上げてほしいと思います。

## 6月行事予定

諸事情により予定が変更する場合があります。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 6/1 | 2 | 3 |
| | | | | 安全指導<br>小学部家庭訪問始<br>眼科検診（789）<br>歯科検診(1234) | 都学力向上調査(8)<br>内科健診(8)<br>英検 | |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | 朝礼<br>都学力向上調査(5) | 新体力テスト | 午前授業（研究授業のクラスは5時間授業）<br>耳鼻科健診（789）<br>代掻き(5) | 歯科検診(56789)<br>小学部家庭訪問終 | 学校公開<br>田植え(5) | 学校公開<br>道徳授業地区公開講座 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 期別朝礼Ⅰ | 都学力向上調査(4) | 小学部午前授業 | 避難訓練<br>委員会<br>たてわり班遊び | 都学力向上調査(7) | |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 桜学朝会<br>水泳指導始 | | 期末考査1日目<br>中学部午前授業 | 期末考査2日目<br>クラブ活動 | 期末考査3日目<br>移動教室前健診(6) | |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 7/1 |
| | 武石移動教室(6)1日目 | 武石移動教室(6)2日目<br>オーケストラ鑑賞教室(8) | 武石移動教室(6)3日目 | 職場体験(8)<br>5時間授業 | 職場体験(8)<br>進路説明会(9) | |

| 教育相談場所 | 西校舎3階「相談室」 | 東校舎1階「あったまルーム」 |
|---|---|---|

☆中学部　スクールカウンセラー（上草）火曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（石井）月・木曜日8：30～15：30
☆小学部　スクールカウンセラー（中村）月曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（木村）火・木・金曜日9：00～14：00
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部：080−7798−3201 中学部：080−7798−3336（5・6年生は中学部用でも可）